

就労支援部会 報告書

会議名	第2回 就労支援部会		
開催日時	令和7年2月6日（木）14時00分～16時00分		
開催場所	板橋区役所 南館4階 災害対策室 AB		
出席者数	11名	傍聴者数	3名

報告事項（2件）

議題名	チャレンジ就労について
概要	令和6年度のチャレンジ就労の進捗状況等について報告。
主な意見	・喫緊に生活費が必要だが、その中で一般就労への準備を進めていきたい方や、就労移行支援事業の再受給が難しく、もう少し生活や就労のリズムを整えていきたい方などをチャレンジ就労に送り出している。その中で、賃金をもらいながら3年間働ける機会は、当事者にとってはありがたいことなので、今後も体制を拡大してほしい。 ・チャレンジ就労の3年間のスケジュールが提示されていると、採用後の展望がみえ、希望する方が応募しやすくなると思う。また、当事者の将来設計にもつながると思う。

議題名	第9期 就労支援部会の活動報告について
概要	令和5～6年度、当部会で行ってきた活動をまとめ、報告。
主な意見	意見なし

協議事項（1件）

議題名	就労選択支援と板橋区の方針について
概要	就労選択支援についての概要と板橋区の現状について共有し、今後の区の方針を定めていくため、意見を募った。
主な意見・回答	・今後、当部会ではどのように就労選択支援を取り上げていくのか。 →当部会は、就労支援の方針を定めていく場。その中で、就労選択支援の運用方法等の細かい詳細については、関係機関を集めた検討会等で協議していく。 ・現在のB型の新規利用者数に対して、どのくらい事業所が必要かわかると、板橋区としてのイメージが少しずつ見えてくると思う。 ・就労選択支援の開始にあたり、当部会等で事例の検討や紹介を行うことで、就労選択支援の質が安定してくると思う。 ・就労選択支援によって、学校の先生や家族、支援機関担当者との進路について考える機会があるのは、とても良いことだと思う。 ・現行の就労アセスメントは3日間だが、事業所の見学だけで終わってしまい、少し短い気がする。5日間くらいあると、より本人の経験になると思う。

	・現状は就労定着支援員と就労移行支援員を兼務している職員がほとんどなため、就労選択支援を採り入れるとなると、人員やスケジュールが厳しいと思う。 ・就労アセスメントは、評価する基準やマニュアルがないと、偏ったアセスメントになってしまう可能性がある。他区では、評価キットのような基準を用意しているケースもあるので、板橋区でも共通して評価できる基準を作っていければいいと思う。 ・就労アセスメントは、評価する人や事業所が違う時点で偏りは出てしまうと思う。今後、就労選択支援が開始されたときは、アセスメントがちゃんと機能しているのかチェックできる仕組みを板橋区として作っていければいいと思う。
今後の方向性	引き続き国の動向を注視しながら、進捗状況について当部会で共有する。 また、当部会関係機関と連携し、板橋区の方向性を定めていく。